

W.E.B. Du Bois とアメリカの敵国

イントロ

・セオドア・ロスロップ・ストダード『白人至上主義世界に抵抗する有色人種の潮流の高まり』

問 デュボイスの思想は世界史上どのような意味をもつのか？

デュボイス(1868-1963)って？

人物

- ・社会学者、公民権運動活動家
- ・混血（フランス系、オランダ系、黒人奴隷、インディアン）
- ・ハーバード大学で初めて博士号を取得した黒人、ベルリン大学にも留学
- ・NAACP 結成、CRISIS 発刊

思想

- ・ベルリン大学留学(1892)、ロシア革命(1917)の影響
 - ・Booker T. Washington との対立
 ナイアガラ運動(1905)：白人社会への収容を拒否
- * 「人種」と「社会主義」という 2つの座標軸

ソ連

イタリアのエチオピア侵略(1935)

- ・ブラックベルト国家構想
- ・エチオピアは黒人にとって神学的に重要な国
- ・ソ連の静観⇔日本の助けへの期待

ソ連旅行（1936）

 発展途上な社会主義国家への期待

ナチス・ドイツ

5 カ月間滞在(1936)

- ・オリンピック開催など、経済成長は評価
- ・ナチスのユダヤ人迫害と黒人差別

日本

デュボイス来日(1936)

デュボイスの日本観

- ・日露戦争での日本の勝利(1905)
- ・パリ講和会議(1919)の人種平等条項不採択

日本の中国支配

- ・満州視察

日本人と中国人は同一人種

- ・松岡洋右満鉄総裁との会談

日本軍国主義と共産主義の共通点

*中国と日本の対立は、同じアジア人同士なのだからいつかは克服できると考えていた

*日本が白人に立ち向かったのに対し、中国は欧米に追従していた

中華人民共和国

- ・パン・アフリカ運動の父
- ・中華人民共和国成立(1949)

中国訪問(1959)

- ・北京、上海、南京などに八週間滞在
- ・ソ連を模倣し社会主義国家建設へまい進する中国に感動

まとめ

デュボイスの思想の世界史的意義は？